

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

# yamagata yori-i プロジェクト

## 事業創出 第14弾

美と健康を追求し、誰もが最高の姿を実現できる社会を目指す

Bio Serve株式会社 設立記者発表

チーフコーディネーター

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター  
センター長 教授 小野寺忠司

【記者発表】

8月2日(金) 13時～15時

@スタートアップステーション・ジョージ山形(山形市)



過去から本質を理解して、  
**未来のあるべき姿** に向かって  
創造し行動することで、  
最上から日本や世界を良くしていく

# これまでの実績 01

## 第1弾

(令和4年8月31日記者発表)

### 一般社団法人 最上イノベーションエクスキュート

アジェンダ: 人  
解決する課題: 教育サービス不足への対応

#### 【参画企業】

株式会社JPD、株式会社ヤマムラ、  
学校法人新庄学園

#### 【目的】

1. 中高生のアントレプレナーシップ(起業家精神)の醸成
2. 論理コミュニケーション力を身につける場の提供
3. イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素を持つ人材の育成



## 第2弾

(令和4年9月30日記者発表)

### 最上地域 早生桐産業創造プロジェクト

アジェンダ: 環境保全、産業  
解決する課題: 森林資源減少の抑制

#### 【参画企業】

株式会社佐藤運送、  
有限会社グリーンバレー 等

#### 【目的】

杉に比べて成長の早さが10倍、二酸化炭素の吸収量が5倍の早生桐の森林造成を通じ、

1. 荒廃地の再利用等による環境の保全
2. 桐材の商品化等による地域林業の再構築を目指す。



2年目の早生桐  
直径14cm



5月植栽の早生桐  
人物は身長170cm

## 第3弾

(令和4年11月14日記者発表)

### 「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

アジェンダ: 人、産業  
解決する課題: 交流人口拡大、所得向上

#### 【参画企業】

一般社団法人スマートニッチ応援団

#### 【目的】

首都圏の学生が最上地域の食材をふんだんに使う「学生食堂」を東京都内に開設し、そこで最上エリアの地域資源をPRすることにより、最上地域の持つ価値の再構築と山形ファンづくりを行う。



# これまでの実績 03

## 第7弾

(令和5年8月8日記者発表)

「金山町・神室の自然に触れるアクティビティ」  
“道楽 神室ベース”立ち上げ

アジェンダ: 環境保全  
解決する課題: 自然体験、交流人口創出

【参画企業】  
道楽 株式会社  
株式会社Be-Ryu

【目的】  
町内外の若者をメインターゲットとし、グリーンバレー神室の豊かな自然環境を活用した自然アクティビティを提供。  
自然体験を通して、もっと自然に触れ、自然の大切さを学び、地域の環境保全に結びついていくことをめざして事業を展開。



## 第8弾

(令和5年10月31日記者発表)

移住者と遊休不動産を繋げる  
「空き家・移住アソシエーション」

アジェンダ: 人  
解決する課題: 移住者支援・空き家対策

【参画企業】  
RoomruBe、県内不動産事業者、地域の起業家

【目的】  
空き家が住めなくなる状態になる前に県外からの移住者など必要な人に流通させるエコシステムを構築する。  
推進組織を設立することで、情報収集力と発信力を高める。



## 第9弾

(令和5年11月28日記者発表)

”服“の力で地域に”幸福(well-being)“を  
一般社団法人 Fuku-Well 設立

アジェンダ: 健康  
解決する課題: 衣服を通じた健康問題の  
解決とwell-beingの促進

【参画企業】  
医療法人慈心会井出眼科病院  
新庄商工会議所

【目的】  
高齢・障がい・病気などを理由に、衣服の着脱等に不便や難しさを抱える方の自立を支援しつつ、着ることの楽しみや出かけることの後押しによりWell-beingを叶えることを目指す。



# これまでの実績 02

## 第4弾

(令和5年6月20日記者発表)

### 「共創の拠点」をつくる 「サイヒロコプログラム」

アジェンダ: 環境保全  
解決する課題: 若者流出、DX技術の向上

#### 【参画企業】

一般社団法人SAI  
東日本電信電話株式会社  
エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ

株式会社

#### 【目的】

世界的な環境アーティストであるサイヒロコ氏からアート思考を学びつつ、氏の作品と親和性の高いデジタル技術を活用してメタバース山形県をつくり、その中で自分がやりたいことに挑戦することを通して、起業・創業のアイデアを見つけ出すことを目指す。



## 第5弾

(令和5年7月11日記者発表)

### 合同会社 Circular Thanks

アジェンダ: 健康  
解決する課題: 地元食材を活用した健康増進、「食」を通じた魅力発信

#### 【参画企業】

合同会社 Circular Thanks

#### 【目的】

最上地域の伝承野菜や山菜など、健康機能を持つ素材を活用し、ストレス社会における美容と健康に関する問題解決に挑むとともに、「食」を通して山形県全体の魅力を発信する。



## 第6弾

(令和5年7月18日記者発表)

### 株式会社 リンクス

アジェンダ: 健康  
解決する課題: スポーツを通じた人々の健康増進

#### 【参画企業】

株式会社 リンクス  
新庄商工会議所

#### 【目的】

スポーツを通じて住民の体力向上や健康寿命の増進を図る。また、全国でも珍しい「会社が運営する総合型地域スポーツクラブ」を目指す。



# これまでの実績 04

## 第10弾

※ 合同会社 Circular Thanksに続き、  
山形大学発スタートアップ2社目

(令和6年1月22日記者発表)

企業を通して地域や社会を学ぶ AIプラットフォーム  
シエル  
株式会社 Ciel 設立

アジェンダ: 人、健康  
解決する課題: 高校生のキャリア形成支援  
就職後のミスマッチ解消

### 【参画企業】

株式会社Ciel[R6.1月設立]

### 【目的】

高校生のキャリア形成に寄与することを目的とした、最新の生成系AI技術による企業情報の提供

高校生が離職する大きな理由の一つである「ミスマッチによる強度な心身ストレス」の解消



## 第11弾

(令和6年2月9日記者発表)

畜産飼料の地域内循環を目指して  
株式会社アルファテック × 株式会社アイオイ  
実証実験開始

アジェンダ: 産業  
解決する課題: 農産資源の地域畜産への活用  
食の安全性確保

### 【参画企業】

株式会社アルファテック  
株式会社アイオイ  
山形大学アグリフードシステム  
先端研究センター(TAAS)

### 【目的】

地域内の豊富な畜産向け農産資源の地元畜産への利活用  
海外依存度が高い畜産飼料の地産地消化による価格の安定化と食の安全性の確保



## 第12弾

(令和6年2月13日記者発表)

持続可能なエネルギー循環社会を目指す  
「ヤマトダマ」試験栽培開始

アジェンダ: 産業  
解決する課題: 地域内のエネルギー確保  
中山間地域の農地活用

### 【参画企業】

株式会社オウルティス  
株式会社金山町須藤農園

### 【目的】

地域外へのエネルギー支出の削減  
中山間地域の農地を活用したエネルギー源確保



※ 詳細は、yori-i project のホームページをご覧ください

<https://yori-i.org>

# これまでの実績 05

## 第13弾

※ 山形大学 i-hope連携

(令和6年5月9日山形大学  
定例記者発表)

「自然の環境・遊休施設活用  
x 最新テクノロジー」  
株式会社 メーカー 設立

アジェンダ: 地域資源・健康  
解決する課題: 伝統・芸術文化・地域資源  
の保全と活用

### 【参画企業】

株式会社メーカー〔R6.4月設立〕

### 【目的】

山形大学i-HOPE新事業創出イノベーションプログラムにおいて創出されてビジネスアイデアに基づき、Yamagata yori-i project の支援を受け事業計画を具体化し新会社を設立。廃校施設を利用し、地域の人々の健康増進等の地域の未来を拓くための事業を展開する。



※ 詳細は、yori-i project のホームページをご覧ください

<https://yori-i.org>

# 「美と健康を追求し、誰もが最高の姿を実現できる社会を目指す」 Bio Serve株式会社 設立

## アジェンダ : 産業と健康

### 解決する課題: 産業の強化と変革、健康長寿の実現

- 株式会社カトルームコーポレーション(山形市:代表取締役 橋本憲夫 氏)では、「お客様の美と健康に貢献しながら自らが成長していくこと」を理念として、美容業を主事業としフランチャイズで全国展開しているが、外見だけでなく体の中(内面)から変えることでお客様の美と健康を実現したいと想いがあり、食品開発に取り組んでいた
- こうしたなか、抗酸化肥料を活用した米から製造される米麴を利用することで、健康的な食品を幅広く製造できるため、これを利用した食品製造販売に取り組むこととなった
- その第一弾として、糎シロップを活用した糎ローチョコレートを何点かサンプルとして製造したが、山形県で事業化したいとの想いから yori-i projectに相談した
- yori-i projectでは、ビジネスプランの策定を通し、担当コーディネーターと、ジョージ山形と連携する支援機関を含め計画策定、知財活用支援、企業連携を通し、事業化を支援
- 株式会社カトルームコーポレーションではこれまで本事業に関わっていた大阪市在住のフランチャイズオーナー荒嶽慎哉氏を代表取締役として迎え、“Bio Serve株式会社”を設立し、麴スイーツ等を利用した加工食品を全国に販売することで、県内農業・製造業・サービス業の活性化を目指す
- 自然由来の高品質な製品を提供することで美容と健康に対する意識を高め、地域のWell-beingを実現する

# 知財活用支援、創業支援、ボードメンバーとの連携

- 山形県発明協会と連携し、知財戦略を支援
- 山形市創業支援事業計画を活用。法人設立の登録免許税減額を支援
- 地元ボードメンバー等と連携し、レシピコンテストを行う等、側面的に支援する

地域課題解決を目指し  
Bio Serve株式会社を設立



Bio Serve



yamagata yori-i プロジェクト

- 山形県発明協会と連携し知財戦略を支援
- 山形市の創業支援事業計画を活用
- 計画策定、知財支援、地域企業との連携サポート等

# 「社会課題解決型ビジネス」の創出

156の  
ボードメンバー



約20の  
ビジネスアイデア



地域課題の解決 と 起業家の創出

- 生産性、付加価値を高めることにより、人口が減っても収益は減らない(生活レベルが下がらない)地域をつくる
- 新たな存在価値・意義に基づくビジネスを創出し、利益を生み出すエコシステムにより経済効果を上げていく

令和4年度(1年目)

令和5年度(2年目)

令和6年度(3年目)

立上げ、組織化、データ分析、  
ビジネスアイデアの洗い出し

- 個別に企業訪問し、ボードメンバーとしての参画を依頼
- 3町村でのヒアリング
- アジェンダの設定
- 5つのアジェンダ分科会を平行で運営

立上げ事業数:3

アイデアのビジネスプラン化  
実装の展開

- 前年度発表した事業のフォロー
- 各アジェンダにつき5~8のビジネスアイデアを実装に向けて検証
- 地元企業への参加依頼
- ボードメンバーとのマッチング
- 5つのアジェンダ分科会を平行で運営

立上げ事業数:9

ソーシャルイノベーション  
プロセス確立と  
他地域展開検討

- 他地域へのプロセス展開
- 事業評価に必要なデータ集積
- 5つのアジェンダ分科会を平行で運営
- ビジネス化の伴走支援
- 発表した事業のフォロー

立上げ事業の目標値: 12~15  
(1アジェンダあたり2~3を想定)

他地域への展開